

## 令和4年度 事業報告

少子高齢化の進展に伴い高齢化社会を迎える中、高齢者の生きがいの充実を図るとともに、高齢者の知識、経験、能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与するため、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと事業運営を行ってまいりました。

シルバー人材センターを取りまく環境は社会情勢を反映して厳しい状況ではありますが、本年度の事業実績は前年度と比較して契約金額で、若干ではございますが増額となりました。

厳しい状況下でこうした実績を得られましたことは、町当局はじめ、大阪府、町内企業並びに地域の皆様の温かいご支援とご協力を戴いた賜物であると感謝するところであります。

また、当初の事業計画で示された基本方針や事業実施計画に基づき

(1) 普及啓発事業の推進 (2) 会員の拡充と充実した組織の確立

(3) 就業開拓の推進 (4) 安全・適正就業対策の推進 (5) 社会貢献事業の推進 など鋭意、努力し各事業を推進して参りました。

契約金額で前年度より 799,070 円増の 112,931,570 円で、内訳といたしましては、公で 1,275,812 円減の 53,312,000 円、民で 2,074,882 円増の 59,619,570 円という結果となりました。

就業延人数は、前年度より 643 人増の 27,844 人となり、また、就業実人員は会員数 178 人に対し 175 人で年間就業率は 98.3%でした。

安全就業・健康管理対策につきましては、就業先パトロール等により安全意識の高揚に努め、就業災害や交通事故の抑制に取り組んで参りました。

会員の拡充対策として昨年度から引き続き、福祉バスに「会員募集」のマグネットシートにより普及啓発に努めました。

今後も、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」を基本に地域の皆様の多様な要望に対応できるよう更なる事業運営に努めて参ります。

以下、次のとおり、事業実績状況等をご報告いたします。